

2023年度名古屋大学大学院工学研究科博士前期課程
機械システム工学専攻, マイクロ・ナノ機械理工学専攻, 航空宇宙工学専攻

受験に際しての注意事項

出願者は「学生募集要項」を必ず熟読し、さらに以下の点について注意してください。

(1) 出願について

入学者の選抜は「一般選抜試験（筆記試験・口頭試問）」により行います。学生募集要項を熟読の上、出願してください。入学志願票、受験票、写真票に記入漏れがないよう注意してください。

(2) 志望専攻について

機械航空系専攻内から志望専攻を第3志望まで、すべて選択してください。また、配属希望する研究室を同系内から専攻をまたがって希望することができます。

(3) 筆記試験について

1) 外国語 英語：筆記試験は実施しません。

提出された TOEFL (Test of English as a Foreign Language) または TOEIC (Test of English for International Communication) のスコアに基づいて成績を評価します (次頁 (5) を参照)。

スコアシートを提出しない場合には、外国語 (英語) の試験は評価されませんが、出願は可能です。

2) 基礎部門

数学：線形代数, 常微分方程式, 微分・積分, 初等ベクトル解析から出題, 全問解答する。

物理学：力学1問を解答する。

3) 専門部門 下記5科目から3科目選択して解答する。

熱工学, 流体力学, 機械力学, 制御工学, 材料力学

(a) 熱工学：熱平衡, 理想気体と実在気体, 熱力学第1法則, 熱力学第2法則, 熱サイクル, 熱力学関数, 相平衡と化学平衡, 伝導伝熱, 対流熱伝達

(b) 流体力学：静水力学, 質量保存則, 運動量保存則, ベルヌーイの式, 内部流れと損失, ナビエーストークス方程式とその層流解, 境界層, 揚力・抗力, 次元解析と相似則

(c) 機械力学：自由振動と強制振動, 1自由度系の振動, 固有角振動数, 多自由度系の振動, モードベクトル, 動吸振器, モード解析, ラグランジュ方程式

(d) 制御工学：伝達関数および状態空間表現に基づく制御系の解析と設計

(e) 材料力学：応力とひずみ, 引張と圧縮, 熱応力, トラス, 組合せ応力, 主応力, はりの曲げ, 棒のねじり, 柱の座屈, ひずみエネルギー

(4) 筆記試験免除について

募集人員の一部について、学業成績優秀者で、本専攻での勉学に高い意欲を持つ者に対して筆記試験免除を行います。筆記試験免除を希望する者は、学生募集要項「7 (2) 筆記試験免除による選抜について」を熟読の上、必要書類を添えて出願してください。筆記試験免除者の選抜は書類選考及び面接試験の2段階により行います。筆記試験を免除された受験者は一般選抜試験の口頭試問のみを受験することとなります。筆記試験を免除されなかった受験者は、一般選抜試験（筆記試験・口頭試問）を受験することとなります。なお、筆記試験免除を希望する志願者は、出願期間が筆記試験免除を希望しない志願者とは異なり、6月8日(水)～9日(木) 16時(郵送必着)であることに注意すること。

(5) TOEFL/TOEIC スコアの提出に際しての注意点

学生募集要項「4. 出願書類等 ⑤」を熟読の上、以下の点にも注意すること。

① 得点として有効なスコア：

- ・2020年6月1日以降に実施されたテストのスコア。TOEICについては、2022年5月29日(第295回)実施分までのスコアシートのみ受け付けます。
- ・TOEFLについては、PBT (Paper-based Test) と iBT (Internet-based Test) のいずれも有効ですが、団体向け TOEFL テストプログラム (ITP: Institutional Testing Program) のスコアは受け付けません。
- ・TOEICについては、団体特別受験制度 (IP テスト) のスコアは受け付けません。
- ・スコアシートは TOEIC および TOEFL の各一通のみ受け付けます。差し替えはできません。両方のテストのスコアが提出された場合には換算点の高いものが採用されます。

② スコア提出方法：

すべての志願者

- ・TOEFL Official Score Report については、出願期間最終日(筆記試験免除を希望する志願者：6月9日(木) 16時、筆記試験免除を希望しない志願者：7月8日(金) 16時)までに届くように余裕をもって送付依頼手続きを行うこと。なお、送付依頼の際に Institution Code は **0312**、Department Code は **68** を指定すること。また、送付依頼したスコアに対応する Examinee Score Report のコピーを、出願時(7月5日(火)～8日(金))に他の書類と併せて提出すること。
- ・TOEIC Official Score Certificate については、出願時(筆記試験免除を希望する志願者：6月8日(水)～9日(木) 16時、筆記試験免除を希望しない志願者：7月5日(火)～8日(金) 16時)に原本を他の書類と併せて提出すること。
- ・提出したスコアシートは返却しません。

筆記試験免除者選抜において筆記試験を免除されなかった受験者

- ・TOEFL/TOEIC のスコアシートの再提出を2022年8月2日(火) 17時まで認めます。提出する場合は、各自で封筒を用意し、「スコアシート在中」と朱書きし、郵便局の特定記録で名古屋大学大学院工学研究科教務課入学試験係(〒464-8603 名古屋市千種区不老町)まで発送すること。

③ 筆記試験当日：

- ・TOEFL のスコアに基づいて成績評価を希望した者は、試験期間中 Examinee Score Report の原本を必ず携帯すること。

※参考

- TOEFL/TOEIC に関する詳細は下記の Web サイトを参照するか、または試験の実施機関に問い合わせること。

TOEFL: https://www.toefl-ibt.jp/test_takers/

TOEIC: <http://www.toeic.or.jp/toeic/>

(6) 口頭試問について

- 1) これまで大学で学んだこと及び一般的事項について口頭試問を行います。
- 2) 実施方法、日程については学生募集要項「7. 選抜実施方法及び試験日程」を参照して下さい。
- 3) 口頭試問は口頭試問実施期間の初日に行います。口頭試問の実施時間、会場等については筆記試験終了後に指示します。

(7) 講座内容

講座、研究グループ構成、研究内容等については、機械航空系専攻ホームページ (<http://www.mae.nagoya-u.ac.jp/>) 及び「機械航空系専攻案内」を参考にしてください。

(8) 研究室配属について

- 1) 8月上旬から筆記試験までの間に出願者を対象に研究室配属のための希望調査を行います。受験票とともに送付される「研究室配属の希望調査」にしたがって、期間内に希望研究室の登録を行ってください。
- 2) 合格通知とともに「配属研究室のお知らせ」をお送りしますので、それにしたがって配属研究室を確認してください。

(9) その他

- 1) 試験中の携帯電話や電子辞書、IC レコーダー、電卓等の電子機器類の使用は禁止です。時計代わりとしても使用できません。
- 2) 筆記試験では、試験開始 30 分前には試験会場に入場してください。
- 3) 筆記試験では、早退は一切認められません。
- 4) 災害等により日程等に変更が生じた場合には、工学研究科ホームページで周知します。詳細は募集要項「1. その他の注意事項」を参照してください。

名古屋大学大学院工学研究科で修士の学位を授与された志願者

名古屋大学大学院工学研究科で修士の学位を本年度授与される予定の志願者

2022年10月入学名古屋大学大学院工学研究科博士後期課程
2023年度名古屋大学大学院工学研究科博士後期課程
機械システム工学専攻, マイクロ・ナノ機械理工学専攻, 航空宇宙工学専攻

受験に際しての注意事項

1. 筆記試験を免除する.
2. 口頭試問について
 - (1) 日時：個別に連絡するので注意すること.
 - (2) 場所：個別に連絡するので注意すること.
 - (3) 博士前期課程あるいはこれまでの研究に関する発表を15分で行うこと.
(プロジェクト使用可, 時間厳守)
発表で使用するPC等は出願者の責任で用意してください.
 - (4) 発表に関連する試問と専門分野の基礎学力に関する試問を行う.
3. 指導教員について
志願者は予定指導教員にあらかじめ連絡しておくこと.

名古屋大学大学院工学研究科以外で修士の学位を授与された志願者

名古屋大学大学院工学研究科以外で修士の学位を本年度授与される予定の志願者

2022年10月入学名古屋大学大学院工学研究科博士後期課程
2023年度名古屋大学大学院工学研究科博士後期課程
機械システム工学専攻, マイクロ・ナノ機械理工学専攻, 航空宇宙工学専攻

受験に際しての注意事項

1. 筆記試験について

(1) 外国語（英語）および基礎部門の試験は免除する。

(2) 専門部門

小論文（志願者の研究分野に関連する出題で、英語の能力も検定する）

2. 口頭試問について

(1) 日時：個別に連絡するので注意すること。

(2) 場所：個別に連絡するので注意すること。

(3) 博士前期課程あるいはこれまでの研究に関する発表を15分で行うこと。

（プロジェクト使用可，時間厳守）。

発表で使用するPC等は出願者の責任で用意してください。

(4) 発表に関連する試問と専門分野の基礎学力に関する試問を行う。

3. 指導教員について

志願者は予定指導教員にあらかじめ連絡しておくこと。

4. 名古屋大学大学院の研究科出身（予定）者，あるいは在職者の場合は，試験方法が上記と異なる場合があるので，予定指導教員に問い合わせること。

5. その他の注意事項

(1) 試験中の携帯電話や電子辞書，ICレコーダー，電卓等の電子機器類の使用は禁止です。時計代わりとしても使用できません。

(2) 筆記試験では，試験開始30分前には試験会場に入場してください。

(3) 筆記試験では，早退は一切認められません。